

- ・日時：令和2年1月22日（水） 10:00～12:10
- ・場所：都城グリーンホテル 会議室

(1) 行動計画書（平成31年2月改定）について

- ・ 行動計画書の変更点、大淀川流域の現状と課題、行動計画進め方変更点について説明した。

■目標値

- ・ 「達成すべき目標値」は行動計画終了時点で達成すべき目標である。行動計画期間が終わっても、「目指すべき目標値」が達成できるように努力していかなければならない。共通認識として分かっておいてもらいたい。

■生態系サービス

- ・ 当初の計画では水質だけを目標としていた。都城では水質に対する関心が低い感じがした。川から得られる恵み「生態系サービス」が大事ではないか。このようなことから生態系サービスを目的に追加した経緯がある。

(2) 特別シンポジウム結果報告について

- ・ 特別シンポジウムについて、概要、パネル討論会における主な意見、アンケート結果、水質気になるマップについて説明した。

(3) モニタリング結果報告について

- ・ モニタリング結果報告について、ハード施策、ソフト施策、水質結果について説明した。

■各市町のハード整備の変化要因

- ・ 都城市、三股町、高原町、曾於市より、ハード整備の現況、変化要因について説明を受けた。
- ・ 本川の水質は改善傾向がみられるが、支川は変動が大きく必ずしも改善傾向にはない。高崎川で汚水が流れている実態があった。支川、住民、産業系へ啓発が足りていないと思う。
- ・ 大淀川岳下橋において事務局（国交省）と都城工業高校の BOD75%の値で差異が認められる。調査時期、調査日、回数、サンプル数を整理しておく必要がある。雨が降っているか、流量が安定している時で月間の変化が大きい。評価地点 4 地点では BOD75%の他に最大値、最小値を示す等して作業部会でチェックした方がよい。

(4) 産官学民協働の取組みについて

- ・ 産官学民の取組について学校、企業、住民団体、かわまち拠点の取組について説明した。

■学校、企業、住民団体の取組

- ・ 都城工業高校、霧島酒造、ヤマエ食品工業、どんぐり 1000 年の森、手仕事舎そうあい、都城大淀川サミットの現状の取組について報告いただいた。

■かわまち拠点

- ・ 国交省・都城市で「川の駅」周辺でかわまちづくりの取組を行っている。川とまちをつなぐことで生活の中で川に目を向けて見てもらいたい。イベントでパックテスト、水生生物調査、カヌー等で水環境を PR しながら、地域の子供、親、学生と関わってってもらいたい。

(5) その他

- ・ WEB アンケート、大淀川における生態系ネットワーク形成の取組について説明した。

以 上